

第43回公共施設等総合管理計画 策定推進本部	日時	令和6年8月21日(水) 9:06~9:17	場所	庁議室
出席者 (14人)	本部長：白井市長 副本部長：神山副市長、大熊教育長 水落企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、北村総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、大澤福祉保健部長、堤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、加藤議会事務局長			
欠席者	なし			
事務局	田中公共施設マネジメント推進担当課長、郷古企画政策課主査			
議題	1 公共施設の在り方検討について			
資料	1 公共施設の在り方検討について			
(進行：白井市長)				
【議題1】公共施設の在り方検討について				
(本件については、事務局が説明を行った。)				
<p>○ 公共施設の在り方検討については、本年2月に開催した第41回公共施設等総合管理計画策定推進本部で説明しているところだが、その後の取組状況、今後の検討の進め方等について報告する。</p> <p>取組状況については、令和6年4月以降、小金井市公共施設在り方検討委員会設置要綱の制定、公募委員の募集・審査を行うなど、検討委員会の開催準備を進めてきた。</p> <p>今後の公共施設の在り方検討の進め方については、大きく検討委員会、庁内検討、市民参加により検討を行っていきたいと考えている。</p> <p>検討委員会については、来週の月曜日に第1回の検討委員会を開催するが、今年度は3回開催し、今後の公共施設の在り方、ビジョンについて検討を行う。令和7年度は予定ではあるが、検討委員会を4回開催し、学校施設の活用方法を中心に検討を行い、最終的に公共施設の在り方・再編方針としてまとめていきたいと考えている。</p> <p>次に庁内検討については、大きく3点の検討を行っていきたいと考えている。</p> <p>1点目は施設所管課を対象にヒアリングを実施したいと考えている。ヒアリングを行う目的は、各施設所管課の現状と課題、今後の施設の在り方、学校施設等との複合化、集約化についての考え方について9月、10月以降にヒアリングを実施したいと考えている。</p> <p>2点目は、施設所管課の係長以下の職員を対象に今後の公共施設の在り方や学校施設等との複合化、集約化についてワークショップ形式で検討を行いたいと考えている。今回の公共施設の在り方の検討は、今後の公共施設の在り方、再編の基礎となるものであり、管理職以外の職員の意見も伺いながら作成することで、多様な庁内意見を方針に反映させることを目的として実施したいと考えている。</p> <p>3点目は、本本部、部会において、検討委員会の検討、庁内検討の状況等を共有等しながら検討していきたいと考えている。</p> <p>最後に市民参加については、多様な意見を方針に反映させる観点から、今年度ワークショップを実施したいと考えている。実施時期の詳細については検討中であるが、11月から3月の間で全3回、公募で募集を行い、30人~35人程度の人数で実施を行いたいと考えている。</p> <p>これらの検討を踏まえ、公共施設の在り方・再編方針を令和7年度末に策定し、令和8年度以降、具体的な再編等に取り組んでいきたいと考えている。</p>				
【関連質疑】				
<p>○ この在り方・再編方針の完成形のイメージについて、庁内において在り方・再編方針の完成形のイメージを共有しながら進めていく必要があると考えるがどうか。</p> <p>→ 庁内検討において各課にヒアリングを行う機会もあるので、各課に完成形のイメージを共有できるように説明等を行っていく。</p> <p>○ 学校施設の検討については、現状においても庶務課と連携して検討しているが、学校現場の声なども聴きながら丁寧に進めていただきたい。</p> <p>→ 引き続き連携を行いながら進めていく。</p> <p>○ ワークショップについて3回開催するというのは、同じメンバーで連続して行うものか。</p> <p>→ 同じメンバーで3回行うことを考えている。</p> <p>○ 何のためのワークショップかということをしつかりと分かるように募集する必要があるかと思うので、募集の際にはその辺の工夫等をお願いします。</p>				

→ 募集の際に何か工夫できないか検討する。

— 以上で、会議終了 —